

## 【003\_無敗最速デイトレ講座】『目線』を決めるテクニカル ～ダウ理論と1番ライン～

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

これまでの【デイトレ講座】のメールでは、『勝ち』の定義であったり、トレードで意識していくべき『考え方』の

概念的な話を先にさせて貰いました。

早く技術的な話に入りたいと思っている人には、焦らすような形になってしまって申し訳ないです(笑)

ただ、この導入の概念を少しでも頭にいれておくかどうかで、この先の話の理解度に大きく影響するので

「そーいえば、この前もあいつ、あんなこと言ってたなあ」と

時々そんな感じで、過去のメールを振り返ってもらえればと思います。

さて、前置きはこの辺にして

今回から各論に入っていきます。

まず、すでに公式サイトでも公開しているテクニカルですが、ここでは

”今日から早速検証・トレーニングに活かしてもらうための導入” に繋がる話に絞って

重要なエッセンスを整理してお送りします。

先に予告しておく、定義ライン(もっとも重要な1番、2番ライン)の活用と実践的なダウ理論(『目線固定』の領域)

そして、短期分析を経てエントリーに結びつけるまでの考え方

これらを段階的に進めていきます。

今回は、『1番ライン』と『ダウ理論』について扱います。

今回は一番基本かつ重要なセクションなので、長くなりますが最後までお付き合いください。  
(後半リンクに、ポイントプレゼントリンクもありますので 笑)

□

■ 1番ラインの定義と使い方

最終的なエントリーの判断は、短期足の『型』に落とし込んでタイミングを取るわけですが

実際のトレードで短期足の『型』が整っただけでは優位性(エッジ)の効いたトレードは出来ません。

そこで大事になるのが

エントリー方向(目線)を決めるための長期環境分析です。

その為に、僕らが基本として用いているテクニカルは

[水平線](#) と [ダウ理論](#)

基本的には、この2つです。

▼(公式サイト)ダウ理論の前提知識を確認したい人はコチラからどうぞ▼

[https://kuro-gaki.com/begginer\\_tutorial\\_jsd/#i-4](https://kuro-gaki.com/begginer_tutorial_jsd/#i-4)

今回取り上げる、この2つの要素は密接に関わりがあって

僕らが『1番ライン』と呼んでいるこのラインが、『目線』を決めるうえでも

『最も基本、かつ重要な水平線』です。

今回のテキストでは、その細かい説明をしていきます。

僕らが1番ラインと呼んでいるのは、[ダウ理論](#)に基づくトレンドの変化(発生、崩壊、継続)に関与する高値、安値に引くものになります。

(戻り高値、押し安値、直近高値、直近安値 の4種類)

イメージを図で示すと、こんな感じです。

▼イメージ図▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/text/1st\\_line.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/text/1st_line.png)

もし可能であれば、このイメージは印刷や別ウィンドウで表示しながら先の説明を読んでみてください。

イメージだけだと分かりづらいので

上のイメージ図を基に、トレンドの崩壊、発生の過程を言語化してみます。

～～

・『高値/安値の更新が維持』されている間は『トレンド継続中』とみなす

図の場合、『押し安値』を下抜けず、『高値の更新』が続いているうちは『アップトレンド継続中』と認識する。

・最後の高値を更新した起点が『押し安値』となる。

・『押し安値』を下抜けられると『アップトレンド崩壊』(この時点では『トレンドなし』の状態)  
⇒更にその際、『押し安値』を切った起点となる高値が『戻り高値』となる。

・『戻り高値』を上抜けずに、次の安値を更新した時点で『ダウントrend発生』となる

以後、『戻り高値』を抜かれない限り『ダウントrend継続』。

⇒安値が更新される毎に、その起点となる高値に『戻り高値』が移動する。

～～

このように『1番ライン』は時々刻々と形成される波に沿って発生・消滅を繰り返します。

最初はややこしく感じるかもしれませんが、1度覚えてしまえばチャートを見てすぐ自動的に引けるようになるものですし

トレードの『目線』を決める上で、この『1番ライン』が最も基本かつ重要なラインになります。

『H4足以上の1番ライン』の場合は『デイトレの利確目標』としたり

抜けたら『大きくプライスが動く可能性を想定する目安』にできます。

短期分析においても、僕が『MAの収縮⇒発散』(これは別の回に扱います)を見てトレードする場合

『波の切り返し』を確認しながらトレードすることがあるのですが

そんな時にもダウ理論に沿ったトレンドの切り返しを活用しています。

今回は一番重要な定義ライン(1番ライン)についての解説でした。

次回は、2番の定義ラインの解説をしていきます。

それを理解するための基礎として、この1番ラインの定義が重要になるので

このテキストを活用しながら

まずは自分の中に一貫した波形認識を作れるようにし、何度同じチャートを見ても同じ場所に1番ラインが引けるようにトレーニングをしてみてくださいね。

<参考動画>

波形認識力を鍛えるトレーニング法

[https://kuro-gaki.com/trend\\_wave\\_sgc/](https://kuro-gaki.com/trend_wave_sgc/)

※クリックするとポイントが付与されます

実演ライブ (YouTube)

<https://youtu.be/6iKJ8evivag>

それでは、今日はこの辺で！